



南14条西6丁目から西11丁目までを**行啓通**と呼びます。明治44年、中島遊園地（現在の中島公園）から山鼻にかけて、大正天皇が皇太子であった折に行啓（皇族の外出の敬称）されたことに由来します。

現在は、古くからの商店や新しいマンションなどが混在する通りとなっています。

① 行啓通

中央区には、大通、駅前通、石山通など大きな通り以外にも、生活に密着した昔ながらの通りが数多くあります。通りは、かつてそこに住んでいた人々の思いや営みを現代の私たちに伝えてくれる身近な場所といえるのではないのでしょうか。今月はそんな通りを訪ねてみます。

② 東屯田通



南8条から南23条までの西9丁目通りが**東屯田通**です。明治9年に山鼻屯田兵村のために設けられた通りで、兵屋が120戸配置されました。大正7年に中島公園が開道50年記念博覧会が開催されたころから、この地の宅地化が進み商店街ができました。

③ 西屯田通

西屯田通では、毎年7月の最終日曜日に「**西屯田夏祭り**」を開催しています。これは西屯田通で、昭和51年から歩行者天国が行われたことを機に、西屯田商工会が主催して続けているお祭りです。西屯田商工会の池田潔さんは「地域の

祭 西屯田夏祭り

こちら山鼻屯田兵村のために設けられた通りで、南6条から南21条までの西13丁目通りを**西屯田通**と呼びます。戦後は商店街が形成され、行啓通、東屯田通と並び当時の山鼻を代表する商店街となりました。

方の親睦と商店街の振興を図るために今後も続けていきたいと思えます」と話していました。

▼今年の夏祭りの様子



▲昔の夏祭りの様子

④ 北三条通

道庁（赤レンガ）正門前からJR苗穂駅前までを**北三条通（苗穂通）**と呼びます。道庁正門前から駅前通までの区間が、大正13年に市内で初めて舗装されました。また、大正8年に西4丁目から東7丁目まで路面電車が開通し、大正11年には苗穂駅まで延長され、市民の足として活躍しました。

この通りは、昭和初期に、ビールや木工、印刷所などの工場、木材店や建具店など職人町として発展し、現在も石造りの倉庫などが残っており昔の名残をとどめています。

中央区通りマップ

